

【活躍する東北の防災士たち～東日本大震災の教訓に】

■ 防災士ネットワークを強化し、地域との連携で災害に備える

《Bosai Plus》特約リポーター・高橋英彦/防災士 工藤 淳/防災士

東日本大震災の被災地では、被災者の生活再建や大震災を教訓とした防災教育の整備など、地域全体で防災に取り組む動きが加速している。また、被災した住宅の修繕・再建を後押しする自治体独自の支援策を打ち出す動きが岩手県や宮城県の沿岸市町村で広がるなど、被災地の復興に向けた動きは着実に前進している。

こうした中、防災士制度や防災教育に対する注目度も高まる。震災直後に避難所となった宮城県内の中学校教員が、住民自治を実践した避難所運営の経験に加え、専門知識の必要性を強く感じて防災士の資格を取得し、災害に備え地域と学校の連携に取り組んでいる。宮城県教育委員会では、今年度から高校や中高一貫教育校など県立全92校に防災主任を配置し、地域や家庭と連携しながら学校の防災拠点機能を充実させる取組みを始めた。

東日本大震災後、東北で活動する防災士の動きでもっとも注目されるのは、昨年12月、特定非営利活動法人日本防災士会の青森、秋田、岩手の3県支部が、広域的な防災士の連携を図り支援活動に当たることを目的に北東北支部連絡協議会を設立したことである。同連絡協議会の工藤淳会長(青森県支部)は「東日本大震災の経験を踏まえ、防災士の広域連携の必要性を強く感じた。今後は3県の防災士のネットワークを活かした活動を積極的に行っていきたい」と話している。北東北支部連絡協議会の発足により、防災士相互の広域連携が強化され、災害時に備えた支部同士の応援体制が整備された。この連絡協議会で中心的な活動を展開している青森県防災士会(青森県支部)の具体的な取組みについて工藤 淳会長のレポートで紹介する。

——2011年度の活動は東日本大震災の被災地(岩手県陸前高田市)への支援物資の調達・運搬からスタートした。募金活動は合計4回行ったが、青森県と赤十字社への多額の義援金よりも、岩手県ろうあ協会(2011.9.23.)と仙台市東通仮設住宅町内会(2012.3.24.)へ直接持参した義援金がとても喜ばれた。

さて、大震災の復旧が一段落した昨年6月ごろから防災教室・防災講演などを中心にイベントへの協力依頼が次々と舞い込んできた。青森県防災士会は県内を地域別に青森支部・弘前支部・八戸支部と3つに分けて活動している。支部別のイベント参加回数は、青森支部9回、弘前支部8回、八戸支部11回、本部事務局が13回の合計41回にも及んだ。例年の約2倍の回数である。このため、一昨年からはじめた災害弱者対策としての聴覚障がい者と視力障がい者向けの防災教室を開催できなかったことが心残りである。

昨年度の特徴は「防災グッズの展示・説明」の依頼が多かったことである。一般市民の防災への関心が高まっている表れだろうと思われる。中でも、備蓄用のパンの缶詰とレスキューフーズは大人気だった。

青森県防災士会は、平時の防災意識の向上と防災知識の普及・啓発をミッションとしているが、昨年9月から今年9月にかけてラジオ放送の生出演でいろいろな防災士がいろいろな防災のアドバイスをすることができた。13名の会員が1～3回の出演で26回の出演を全うした。プロデュースした私としては、予想外の出来栄に、次はテレビ出演も可能ではと意を強くしている。

昨年度の締めくくりは、社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団青森県長寿社会振興センターから依頼された講演である。青森県が高齢者のためにラジオ放送を通じて、1年にわたって学習するもので、その2回目のスクーリングと修了式を兼ねた最後の学習会であった。私もすでに還暦はすぎているのだが、先輩方の学習意欲に敬意を表したい。

このラジオ放送講座には講師として3～4回出演し、いずれも気象予報士としてのお天気の話だったが、今回は「3.11から1年、あの時とこれから」と題して、この1年間にできたことやできなかったことを中心に、安心・安全は家庭からと唱えた。私の講演には必ずクイズが登場するのだが、高齢者の皆さんの的中率には今更ながら驚かされた。

日本防災士会は全国に55の支部がありどんどん増えている。昨年末には青森県・岩手県・秋田県支部がスクラムを組んで、「北東北支部連絡協議会」を設立したが、東北地方の空白地帯となっている福島県と山形県に防災士会を立ち上げることが急務となっている――

このように東日本大震災を教訓とした防災士の活躍にはめざましいものがある。今後は、防災士ネットワークと地域の連携で次の災害に備えることが、防災士活動の大きなテーマになるのではないかと。地域住民の防災士に対する期待は大きい。

*工藤 淳 氏:特定非営利活動法人青森県防災士会 代表理事会長/気象予報士/防災士/社会貢献活動支援士/社会貢献学会顧問)

>>青森県防災士会 >>日本防災士会 >>日本防災士機構



写真は、義援金募金、子ども向け防災啓発イベント、ラジオ出演、被災地支援ボランティア活動など、防災士と地域の連携で活性化する青森県防災士会活動を伝えるアルバム(提供:青森県防災士会)